




論文審査結果の要旨

論文提出者	(氏名) 小 笹 竜 起
論文審査委員	主 査 大 関 悟 
	副 査 池 邊 哲 郎 
	副 査 沢 禎 彦 
論文題目	Tumor-induced lymphangiogenesis in cervical lymph nodes in oral melanoma-bearing mice
<p>(論文審査結果の要旨)</p> <p>本研究はマウス口腔メラノーマ担がんモデルを用いて、転移を生じる頸部リンパ節(LN)でのリンパ管新生・増生などを明らかにするために、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 腫瘍関連リンパ節の組織学的検索、 2) リンパ節でのリンパ管増生の組織半定量的検索、 3) リンパ管増生へのVEGF-C (血管内皮細胞増殖因子) とそのレセプターVEGFR-3の相互作用について、の検索を行ったもので、VEGF-Cが腫瘍関連LNでのリンパ管新生・増生に関与する因子の一つである可能性が示唆された。腫瘍関連LNは、リンパ管新生・増生を特徴とする腫瘍反応性リンパ節症を呈し、これら一連のLNにおけるリンパ管の動態は、LN転移の準備段階として生じ、SLNから遠隔LNなどへの転移に関与することが明らかとなった。 <p>公開の予備審査発表会において、申請者は研究の背景、意義、研究方法、結果を分かり易く説明し、研究方法の妥当性、結果とその考察の吟味と質疑に対して、適切な回答がなされ、本研究を良く理解し、幅広い知識と研究手技を有しているものと判断された。</p> <p>この研究で得られた知見は口腔癌の頸部リンパ節転移の予測や早期診断における有用な modality として期待され、学位論文として価値あるものとして評価された。</p> 	